

「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向けて

このたび、平成 30 年度から向こう 12 年のまちづくりの指針となる第二次山陽小野田市総合計画を策定しました。

本市でも国内の多くの地方都市と同様に、少子高齢化や、若い世代の市外への流出による人口減少が続いており、地域経済の縮小や、税収の減少につながっているほか、地域を支える人材が不足し、まちの活力が低下していくことが懸念されます。

このような状況においても、山陽小野田市が将来にわたって持続可能なまちであり続けるためには、健全な財政運営を行いつつ、これからの時代にふさわしい「住みよさ」が実感でき、子どもからお年寄りまでが「住んでよかった」「住みやすい」と思えるまちを目指して、市民の皆様にとって住みよい暮らしを創造していくことが必要であると考えています。

こうした思いから、第二次山陽小野田市総合計画では、将来都市像を「活力と笑顔あふれるまち」とし、本市にあるさまざまな地域資源を活用して、市民の皆様とともに、笑顔が広がる、輝く、魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、市民や本市を訪れた人が笑顔でいきいきと過ごしているまちのイメージを「スマイルシティ山陽小野田」というキャッチフレーズにして、本市の魅力を市内外に広く発信していく、シティセールスにも取り組んでまいりますので、市民の皆様もぜひ本市のPRに御協力をお願いします。

最後に、この計画の策定に当たり、熱心な御審議を重ねていただきました基本構想審議会委員の皆様、みらい会議、若者みらい会議、地域懇談会に御参加いただいた皆様、アンケートやパブリックコメントで御意見をお寄せいただいた市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成 30 年（2018 年）3 月

山陽小野田市長

藤田 剛二

